

**金融制度スタディ・グループ**

**ヤフー株式会社**

**2018年9月25日**

# 目次

<b>P. 3</b>	<b>会社紹介</b>
<b>P. 12</b>	<b>ヤフーが目指す決済金融事業</b>
<b>P. 18</b>	<b>データ活用事例のご紹介</b>

# 会社紹介

# 業績ハイライト①

	実績	前年度比
売上収益	8,971 億円	+5.1%
営業利益	1,858 億円	-3.2%
EBITDA	2,280 億円	-6.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,311 億円	-4.0%
希薄化後 1株当たり当期利益	23.0 円	-4.0%
2017年度 期末配当(1株当たり)	8.86 円	同額

## 業績ハイライト②

	実績	前年度比	スマートフォン経由比率
広告関連売上収益	3,034 億円	+5.9%	55.7%
eコマース国内流通総額*1	2.10 兆円	+13.7%	52.9%*2
月間アクティブユーザーID数*3	4,392 万	+12.7%	
「Yahoo!プレミアム」会員ID数*4	1,979 万	+56.9%	
クレジットカード有効会員数*5	468 万	+29.8%	

\*1 ショッピング関連取扱高、オークション関連取扱高、アスクル(株)におけるBtoB事業インターネット経由売上収益(20日締め)です。

ショッピング関連取扱高には、アスクル(株)におけるLOHACO事業の取扱高(20日締め)、トラベル関連、有料デジタルコンテンツ等を含んでいます。

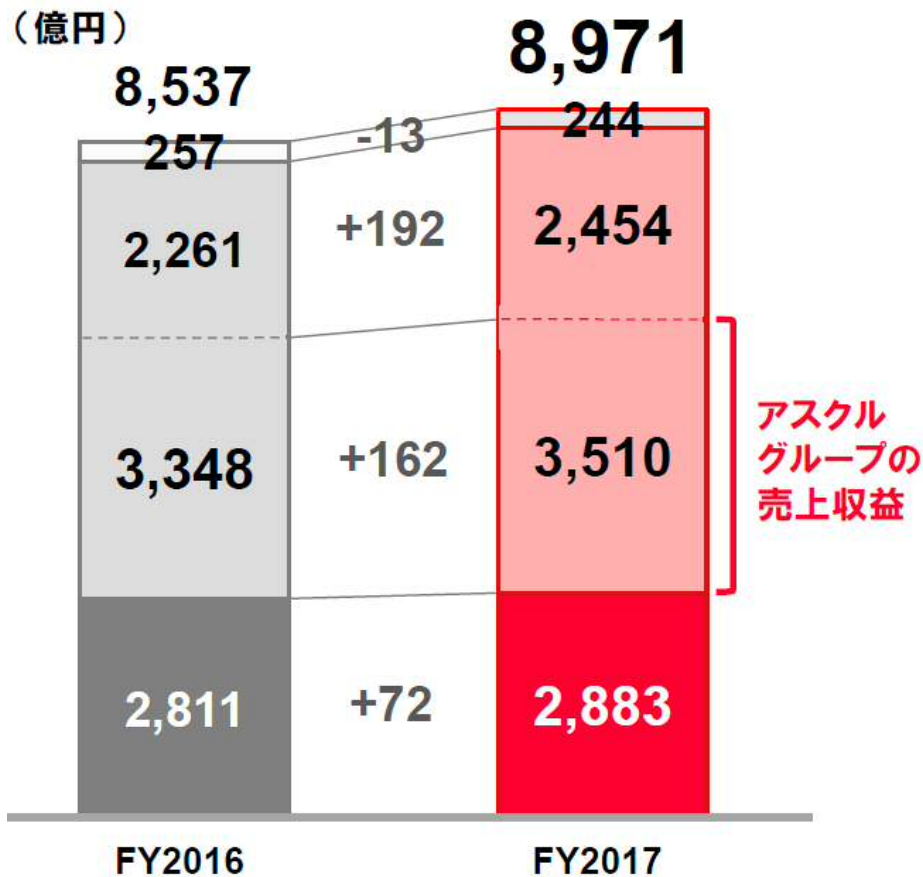
\*2 ショッピング関連取扱高とオークション関連取扱高におけるスマートフォン経由の取扱高比率です。

\*3 2018年3月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数です。

\*4 2018年3月末時点の実績です。「Yahoo!プレミアム」会員には、「Yahoo!プレミアム」特典の対象となるソフトバンク会員およびY!モバイル会員等を含んでいます。IDの重複を除いています。

\*5 商品の購入ができ、役務の提供等が受けられるカード会員数です。「KCカード」、「Yahoo! JAPANカード」、「ソフトバンクカード(おまかせチャージ)」会員を含んでいます。

# 売上収益構成



## メディア事業

**前年度比 2.6%増**  
 検索連動型広告売上収益の増加

## コマース事業

**前年度比 6.3%増**  
 アスクルグループを除く前年度比 8.5%増  
 ショッピング広告売上収益の増加

## その他

**前年度比 5.4%減**

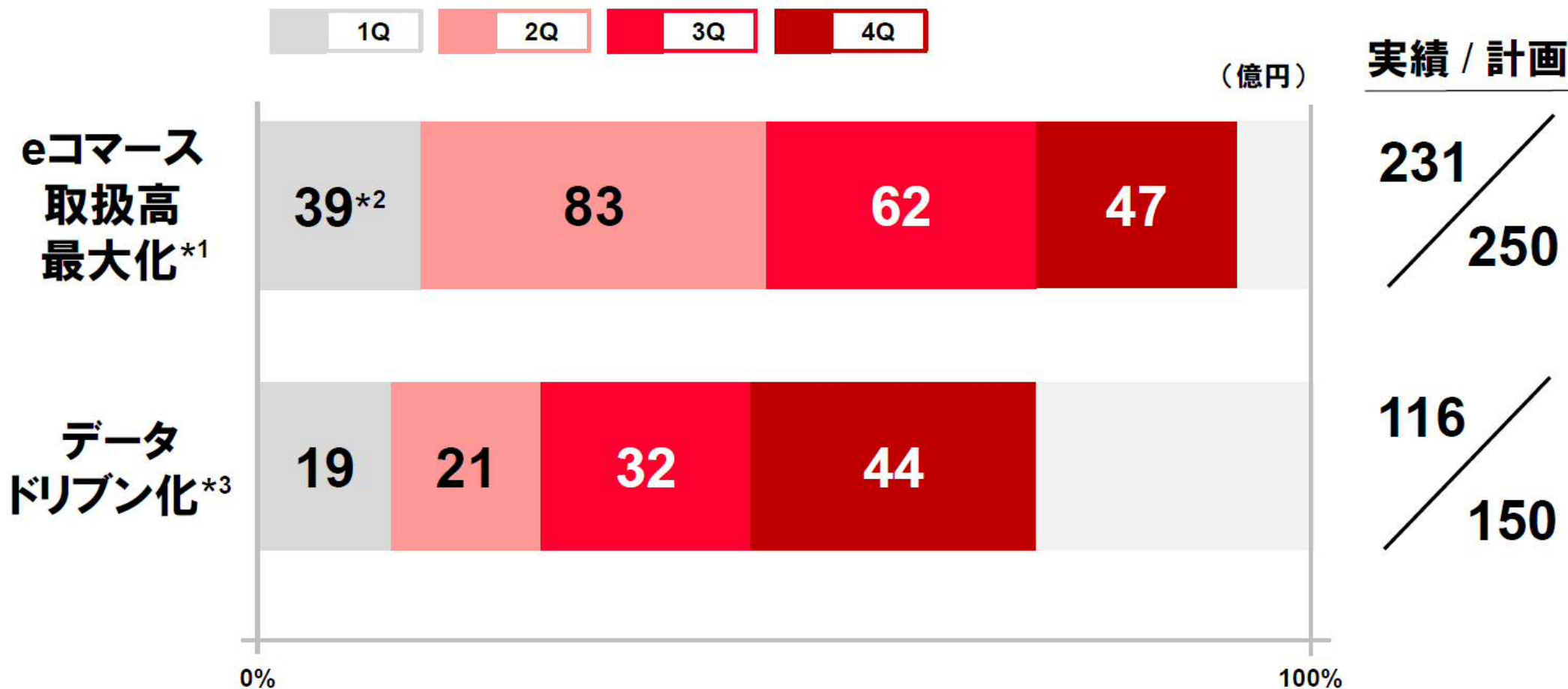
注1: 調整額を表示していません。

注2: 過去の業績および比較は現在のセグメントに合わせて遡及修正しています。

注3: アスクルグループには、アスクル(株)に加え、(株)アルファパーチェス、(株)チャームなどが含まれます。



# 2017年度 追加投資実績



\*1 オークション関連事業およびクレジットカード事業の売上収益と販売促進費を相殺することによる売上収益減少に伴う利益の減少を含んでいます。  
 \*2 2017年度第1四半期の決算プレゼンテーション資料11ページに記載している数値は営業利益の増減要因のため、追加投資実績の数値とは異なります。  
 \*3 設備投資額ではなく、減価償却費などの費用面での影響です。

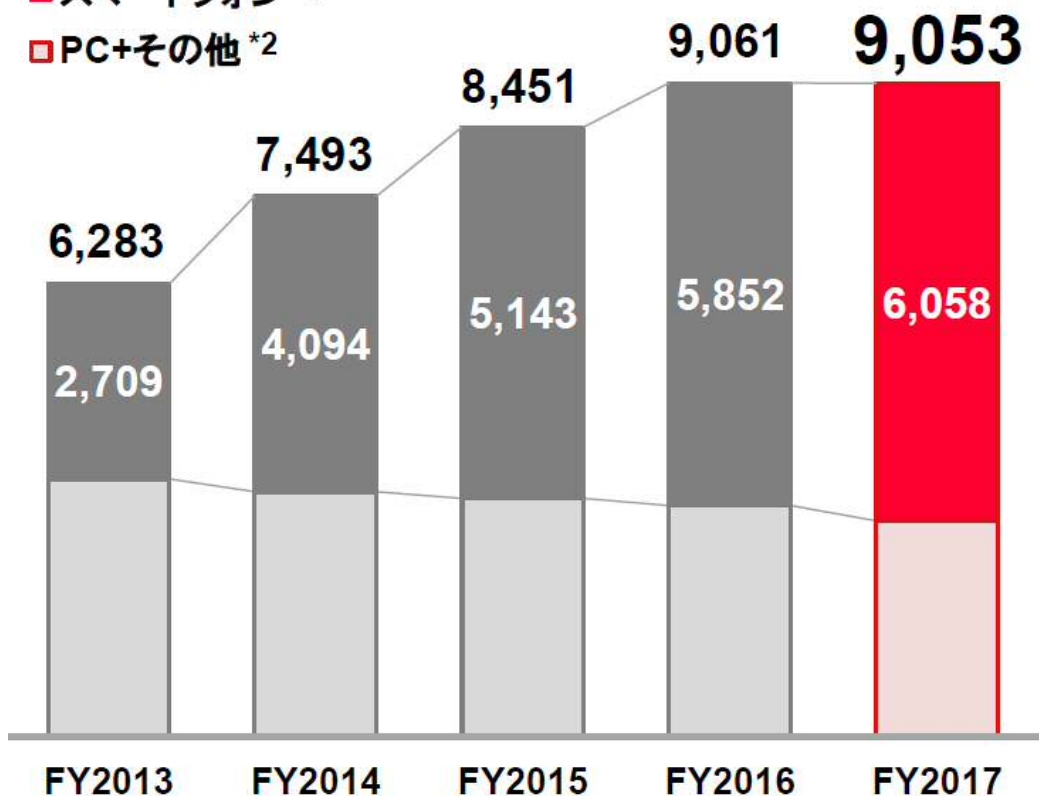
# Daily UB(デイリーユニークブラウザー)数



(万)

■スマートフォン\*1

□PC+その他\*2



スマートフォン経由が  
**6,000万を  
初めて突破**

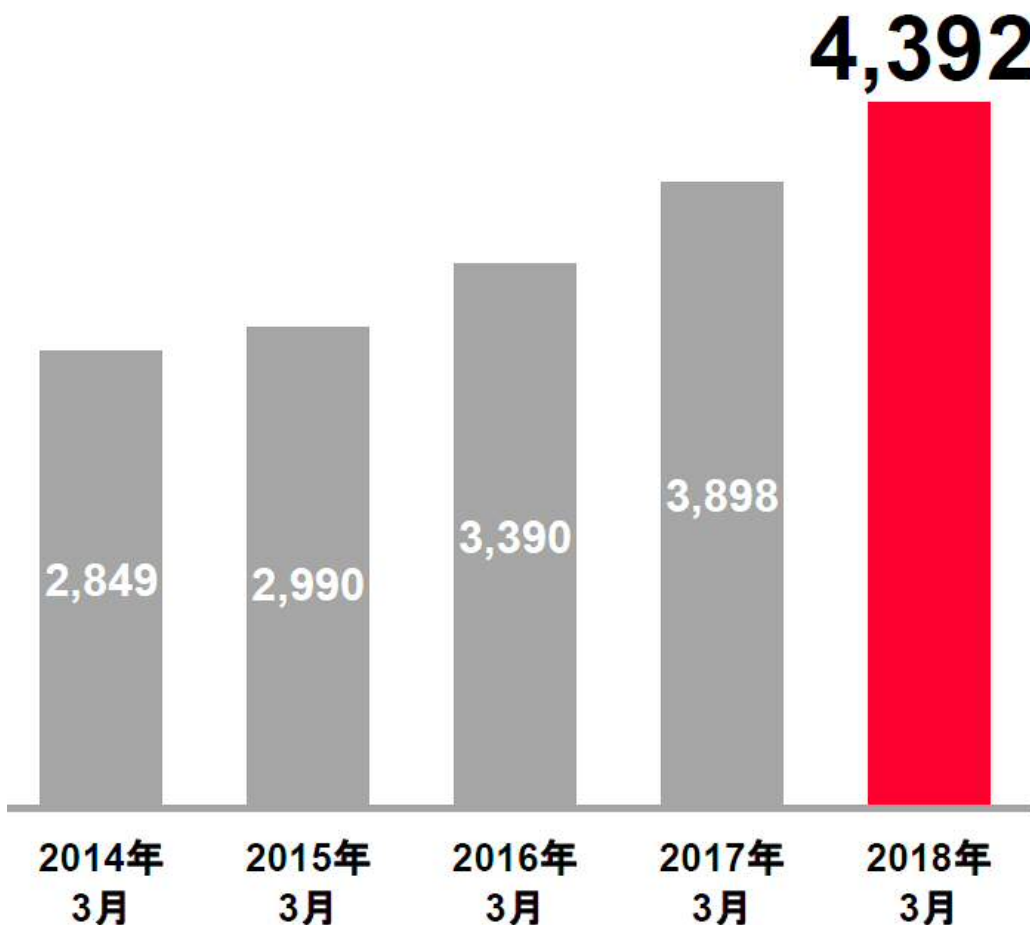
\*1 アプリ、ブラウザーからの閲覧を含んだ年度平均です。アプリ、ブラウザーの両方から閲覧した場合は、重複カウントしています。

\*2 PC、タブレット、フィーチャーフォンからの閲覧を含んだ年度平均です。



# 月間アクティブユーザーID数

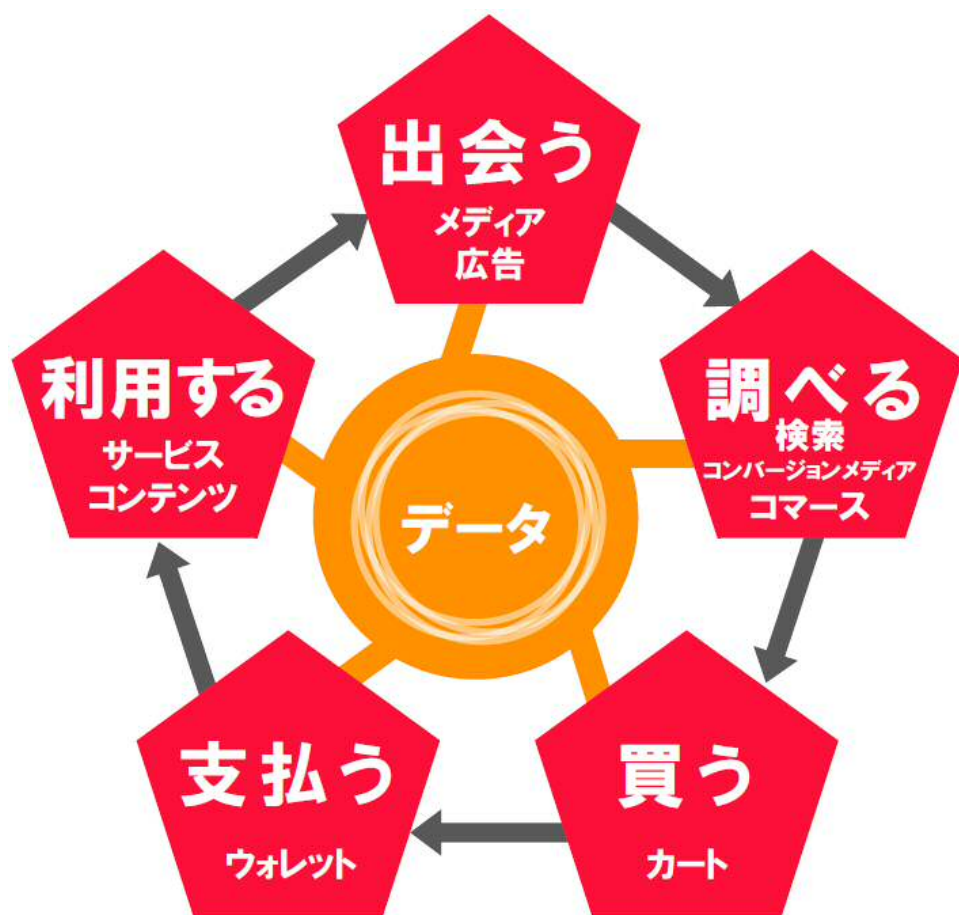
(万)



前年同月比  
**13%増**

注: 各月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数です。

# 強みは利用者の行動を一気通貫でおさえていること



## サービス連携を強め さらなる成長へ

# 3つの領域でNo.1を目指す



eコマース  
(物販)

取扱高No.1



インターネット  
広告

売上収益No.1

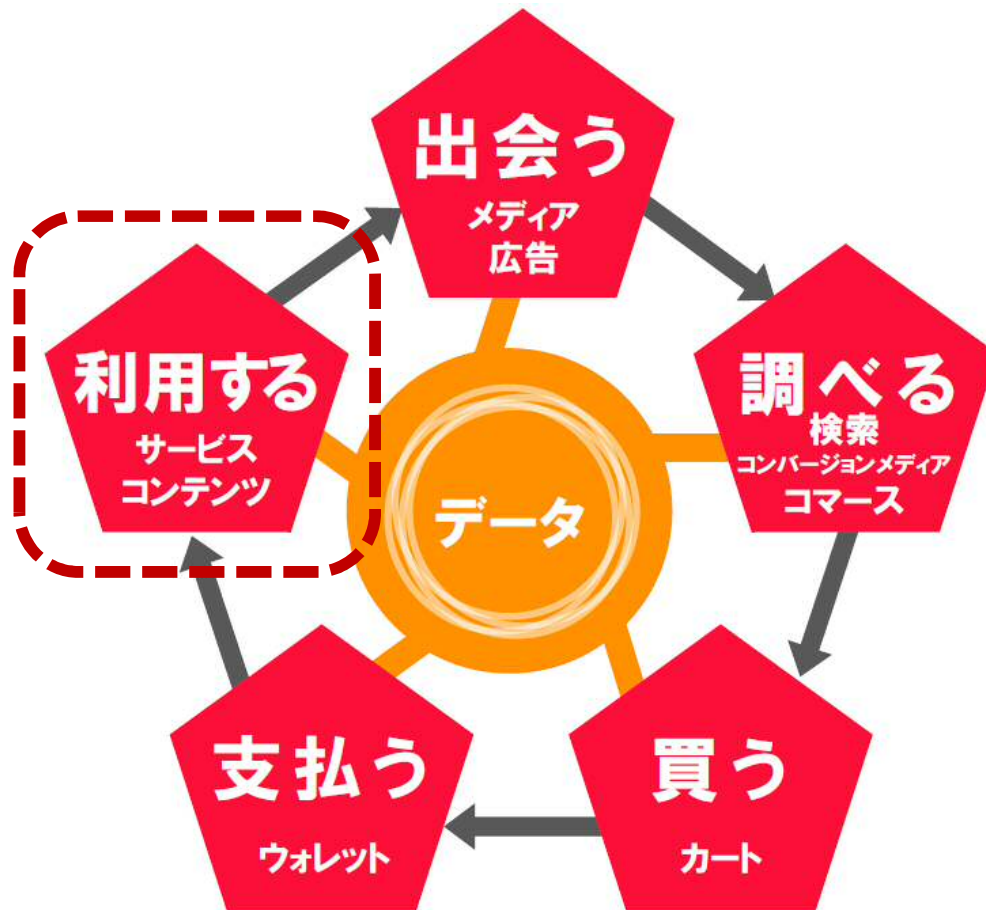


モバイル  
ペイメント

取扱高No.1



# ヤフーが目指す 決済金融事業



コマース・決済の商流をベース  
にデータを活かして

- 借りる(ローン)
- 増やす(投資)
- 備える(保険)

を提供する

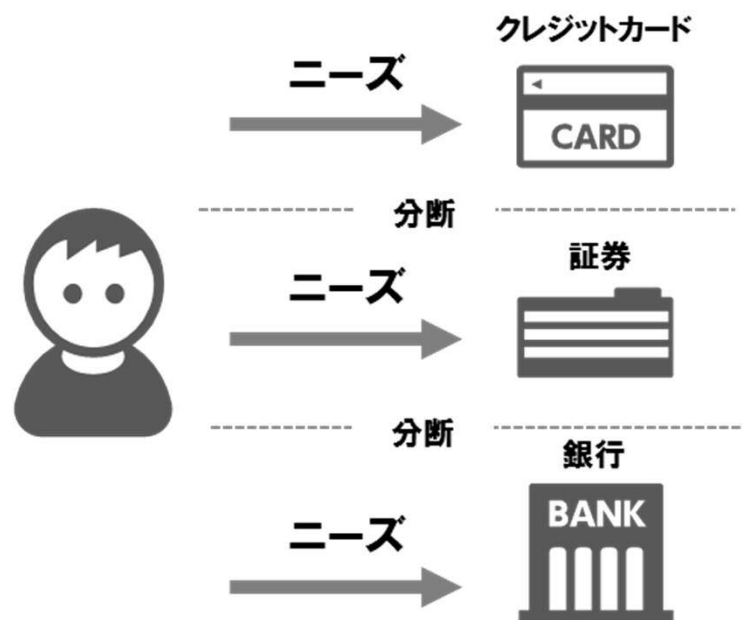
**ネット屋が興す** 決済金融のデジタル化によって  
「ユーザーのより豊かな生活」  
を提供する



# ネット屋の顧客本位

## リアル

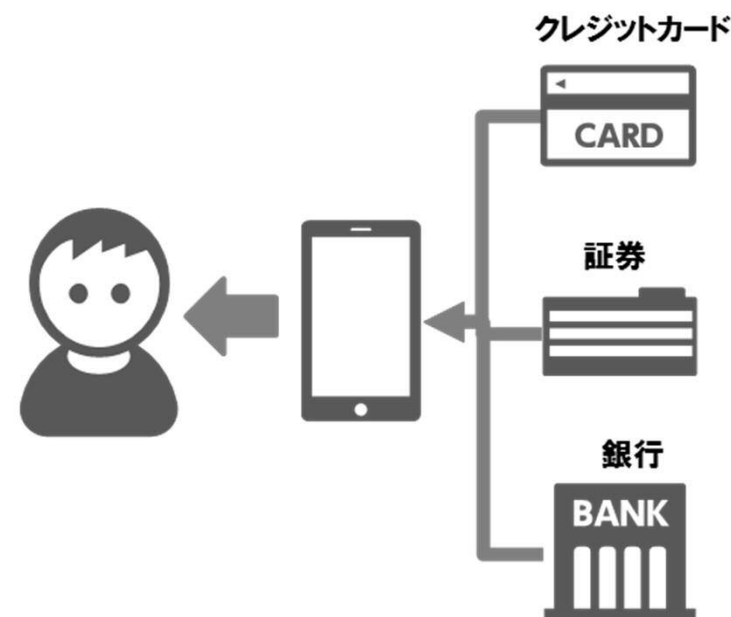
業ごとの顧客ニーズに応える



リテラシーのある顧客だけが対象

## ネット

統合されたユーザー体験を届ける



全員に金融サービスを提供可能

# 新しい金融体験の提供

買い手



ヤフオク!



Yahoo!ショッピング



LOHACO

売り手



支払う

決済事業



クレカ



電子マネー



T-POINT  
ポイント

どこよりも  
簡単、お得

優良顧客を  
送客

運用  
する

金融事業



投資信託



投信販売、FX

いつでも  
自由な額で  
運用

預ける  
借りる

銀行事業



Japan Net Bank

預金・ローン

24時間  
365日  
資金サポート

即日入金  
即日融資

# ビジョンの達成にむけて

買い手



ヤフオク!

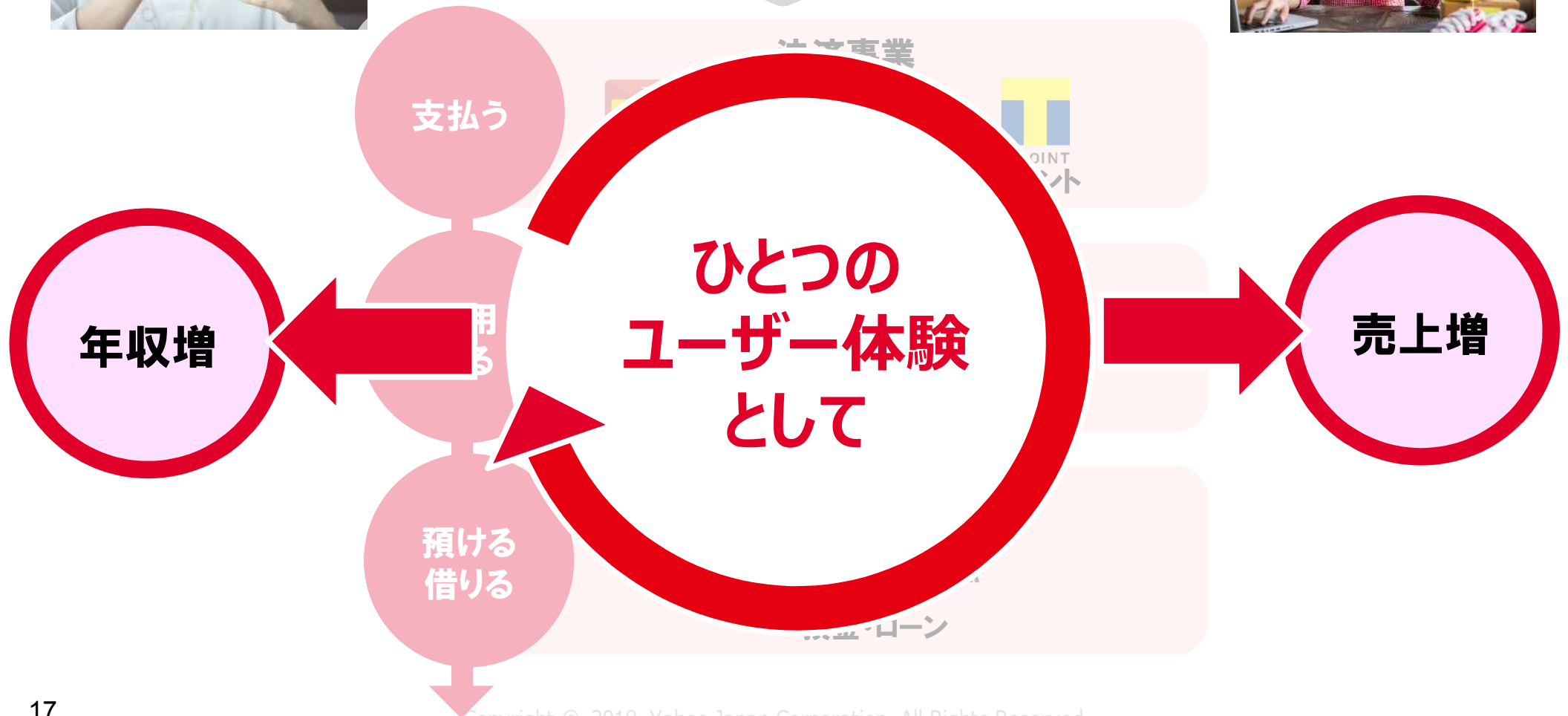


Yahoo!ショッピング



LOHACO

売り手

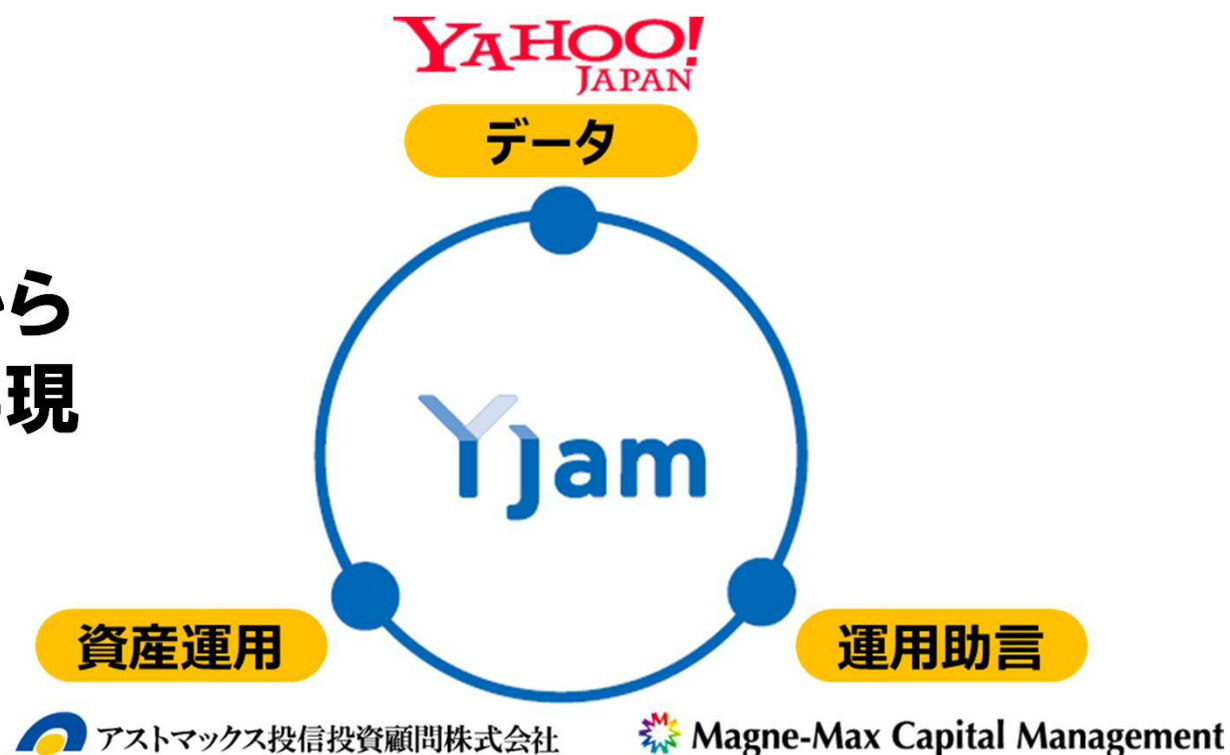


# データ活用事例のご紹介

# ビッグデータ × AI × 投信

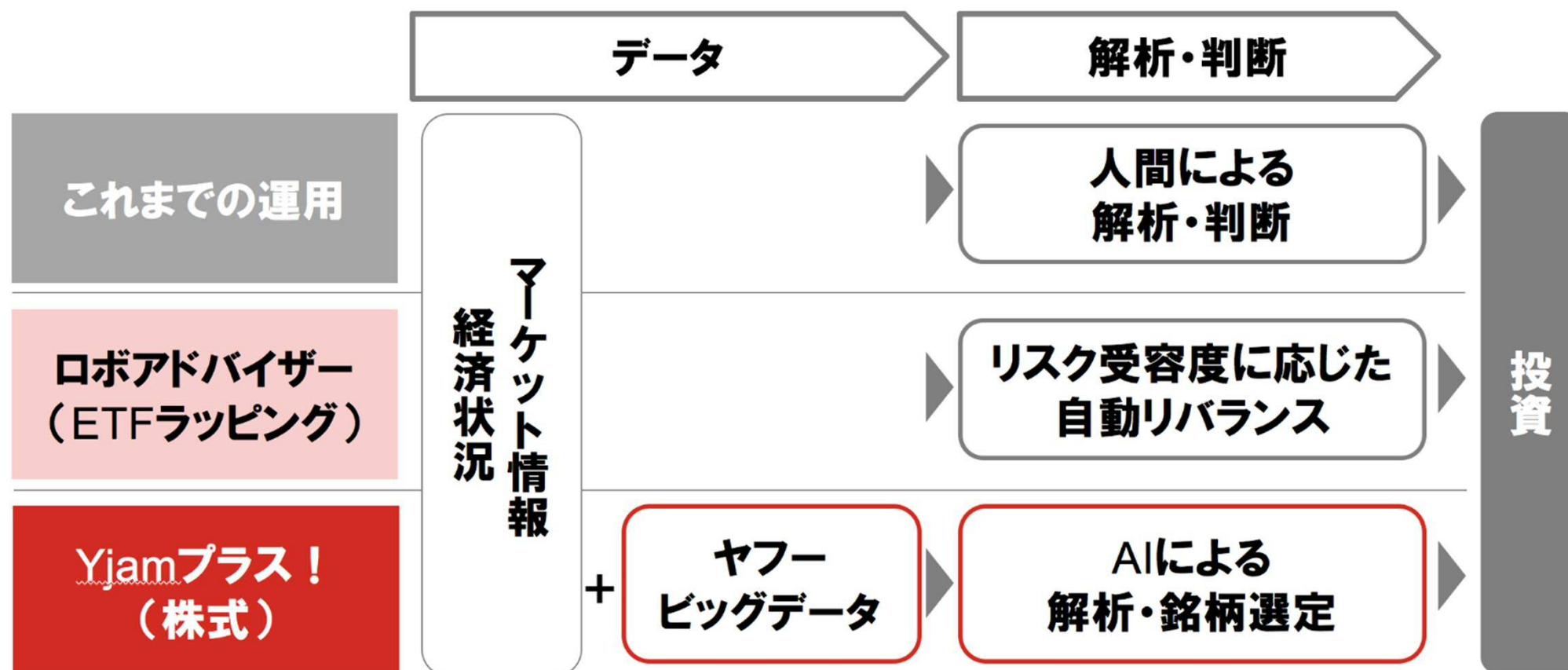
## 三社で創った世界で勝負できるAI投信

ヤフーのビッグデータから  
完全AIによる運用を実現





## 人間の判断を排除した、完全AI判断による運用を実現



## 設定以来、安定的にTOPIXを上回るパフォーマンスで運用

### ■2018年6月 月次レポート

#### 基準価額の推移 (2016.12.20~2018.6.29)



#### 基準価額・純資産の実績

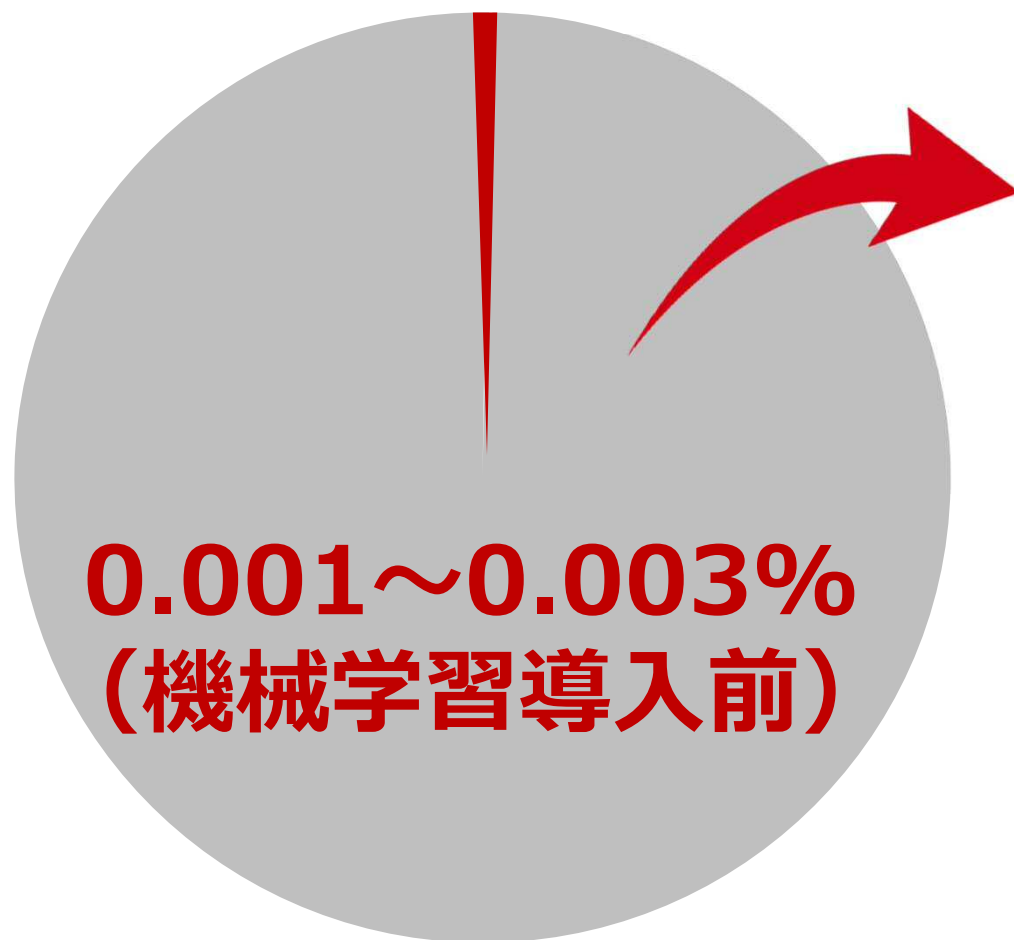
設定日	2016.12.20
基準価額	12,097 円
純資産総額	308.94 億円

- ※ 基準価額は信託報酬 (年率0.9936%(税込)) 控除後の値です。
- ※ 基準価額は10,000口当たりで表示しています。
- ※ 分配金込み基準価額は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した基準価額です。
- ※ 参考指標であるTOPIXは当ファンドの設定日 (2016年12月20日) を10,000として指数化しております。

当該資料は事業の説明を目的としており、特定の商品を推奨するものではありません

# 不正検知

## Eコマースでの不正決済率(金額ベース)



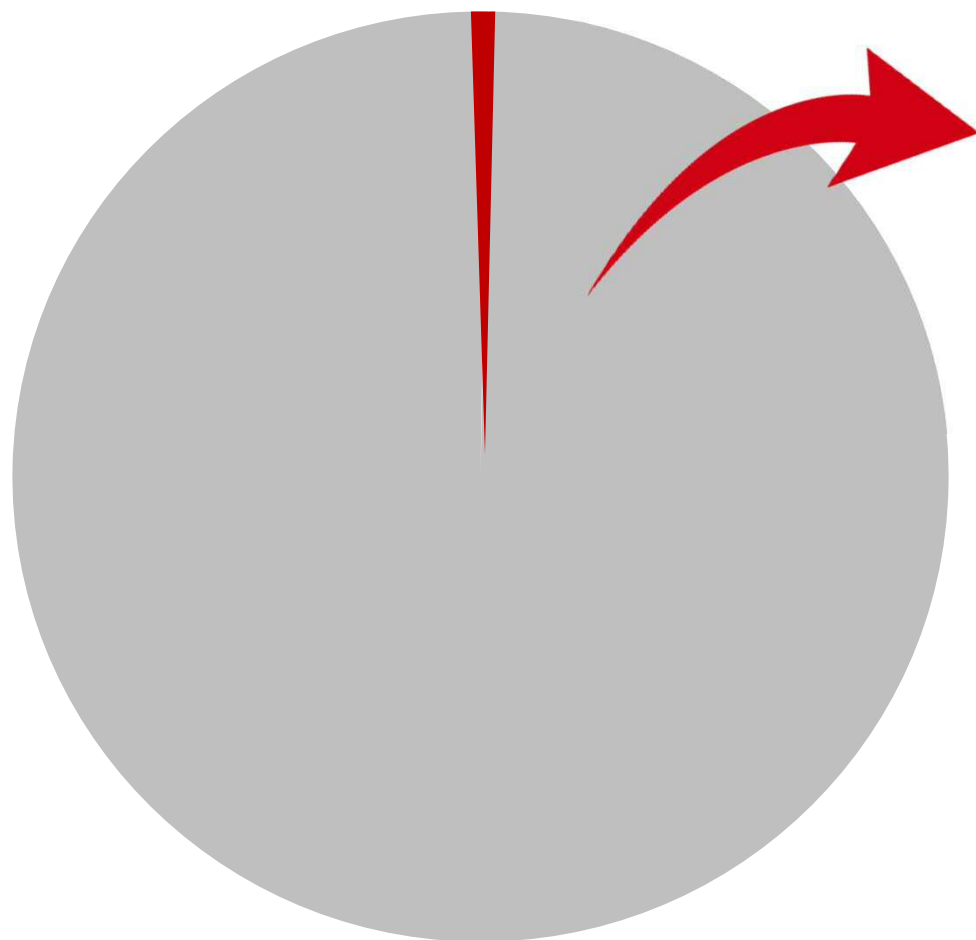
人力による不正検知により実現

<審査方法>

- ①不正利用の懸念がある決済を抽出
- ②目視により精査



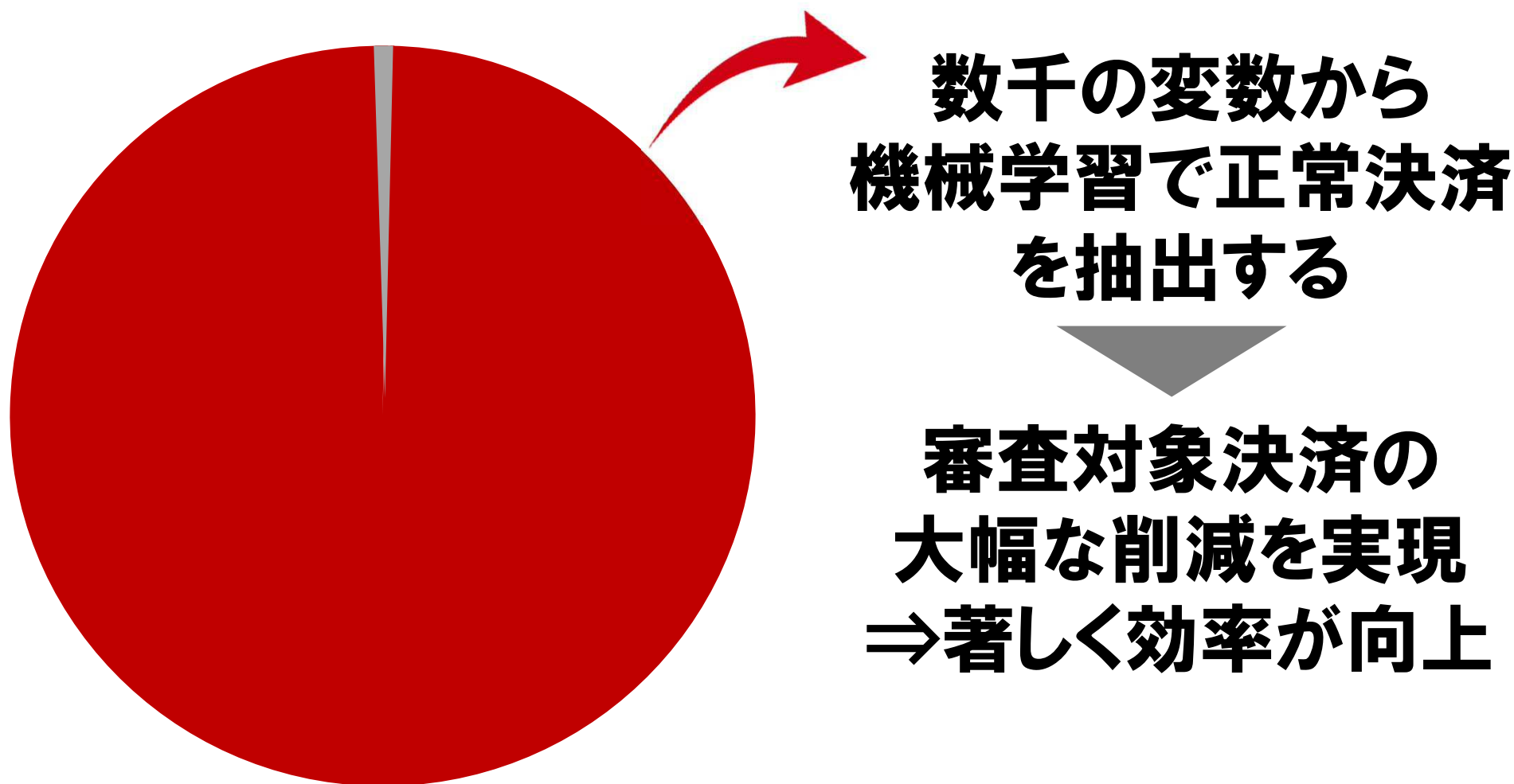
**取扱い高の増加に伴い  
人員増加が必要**



**数千の変数から  
機械学習で不正決済  
を抽出する**



**【問題】  
新たな不正方法への  
対応ができない**





- データの特性から考えると、AIとの親和性は高い
- ただし、日々変化する不正方法への対応を完全にAI化することは現時点では困難
- 人による判断とAIの組み合わせによる最適化から取り組み、効率を上げていくアプローチが重要